

# 第 15 回全日本エンデュランス馬術大会 2014 実施要項

主催 : 公益社団法人 日本馬術連盟

運営 : 全日本エンデュランス馬術大会実行委員会

## 1. 競技日程 平成 26 年 9 月 20 日 (土) ~ 22 日 (月)

### 9 月 20 日 (土)

受付 12:00~14:00

(入厩時) 獣医検査 ~13:00

第 1 回インスペクション (競技前インスペクション)

13:00~15:00

開会式/ブリーフィング (選手打合せ会)

16:30~17:30

### 9 月 21 日 (日)

選手権競技スタート 3:00~

一般競技スタート 5:00~

ベストコンディション審査 ※ブリーフィングにて発表予定

交流懇親会 18:30~

### 9 月 22 日 (月)

表彰式/閉会式 9:00~

## 2. 会場 北海道河東郡 鹿追町瓜幕ライディングパークを発着とする特設コース

## 3. 大会について

1. 競技種目	<p>1. 選手権競技 120km (40km+30km+30km+20km 4 区間)</p> <p>走行制限時間 12 時間 00 分 (平均時速 : 10.00km/h)</p> <p>第 3 区間のカットオフタイム 14:20</p> <p>第 4 区間のカットオフタイム 17:00</p> <p>強制休止時間 第 1~3 区間後 40 分</p> <p>2. 一般競技 80km (30km+30km+20km 3 区間)</p> <p>走行制限時間 8 時間 00 分 (平均時速 : 10.00km/h)</p> <p>第 2 区間のカットオフタイム 11:40</p> <p>第 3 区間のカットオフタイム 14:20</p> <p>強制休止時間 第 1~2 区間後 40 分</p>
---------	---

<p>2. 参加資格</p>	<p>参加資格については、日本馬術連盟競技会規程第 26 版を適用する。また、日本馬術連盟に登録のない団体は、所属の名称として使用できない。</p> <p>1. 共通</p> <p>①選手 申込時において日本馬術連盟の登録会員であること。また、年齢は 14 歳の誕生日を迎える年からとする。20 歳未満の者については保護者の承諾を必要とする。また、日本馬術連盟騎乗者資格エンデュランス限定 B 級以上を取得していること。</p> <p>②馬匹 日本馬術連盟の登録馬であること。妊娠が明らかで妊娠 120 日以上の牝馬あるいは離乳前の子連れの牝馬は参加できない。</p> <p>③完走証明 完走実績の証明は、それぞれの主催者の発行する完走証明書の写しが必要であり、それは国の内外を問わない。ただし、北海道内の競技会を過去に完走したことのある人馬は、この提出を免除する。</p> <p>2. 選手権競技 120 km</p> <p>①選手 80km 競技を 2 回以上完走していること。</p> <p>②馬匹 80km 競技を 2 回以上完走していること。また、年齢は 6 歳以上であること。</p> <p>3. 一般競技 80 km</p> <p>①選手 60km 競技を 2 回以上（内、1 回はプレノービス競技でも可）完走していること。</p> <p>②馬匹 60km 競技を 1 回以上完走していること。また、年齢は 5 歳以上であること。</p>
<p>3. 競技会規程</p>	<p>日本馬術連盟競技会規程第 26 版を適用する。</p> <p>1. 負担重量</p> <p>①選手権競技 最低負担重量は 70kg（頭絡は除く）とする。（第 812 条 6 参照） ※検量は競技会開始前最終区間ゴール直後に行う。ただし、競技中に随時検量を行う場合がある。</p> <p>②一般競技 最低負担重量は設けない。</p> <p>2. 走行時間 走行時間は第 1 区間スタートから最終区間ゴールライン通過までの時間とし、強制休止時間を減じたものとする。走行時間が走行時間制限内であり、馬匹が最終獣医検査に合格したものを完走とする。</p>

	<p>※強制休止時間合計      選手権競技      2 時間 00 分    一般競技      1 時間 20 分</p> <p>3. スタート スタートは競技每一斉に行う。</p> <p>4. 順位決定 順位は、最終インスペクションに合格した人馬の中から走行時間の少ない順とする。</p> <p>5. その他重要なルール</p> <p>①馬装/用具</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・拍車、鞭（それに準じたものを含む）、折り返し手綱の使用はできない。（第 810 条参照）</li><li>・踵のない靴（12mm 未満）を履くことは、ケージ付の鎧か、同様の安全鎧を用いる場合のみ許される。（第 809 条 2 参照）</li></ul> <p>②スタートとゴール</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第 1 区間スタート時刻から 15 分以内にスタートしなければ失格あるいは失権となる。（第 805 条 3 参照）</li><li>・第 1 区間のスタートラインと最終区間のゴールラインは、騎乗して通過しなければならない。（第 807 条 1 参照）</li></ul> <p>③コース走行中</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・選手への援助は、クルーポイント、クルーエリア、インスペクションエリアに限られる。（第 807 条 6.1、7.2 参照）</li><li>・選手以外の方がコース上で騎乗した場合、あるいは車両・自転車・徒歩等で併走した場合は失格となる。（第 807 条 7、7.1、7.3、7.4 参照）</li><li>・コース走行中を含めて落馬したり、放馬してしまったり、あるいは鉄が緩んだり落鉄した時など、援助を受けることができる。（第 807 条 6.3 参照）</li><li>・競技走行中における携帯電話の使用を許可する。また、大会実行委員会より GPS 端末を提供の予定。（第 810 条 3 参照）</li><li>・コース走行中に走行を取りやめた場合、失権となる。（第 813 条 4 参照）</li><li>・自主的あるいは他に理由があるかにかかわらず、競技会開催中のいかなる時点であっても競技へ出場できなくなった馬はすべて、獣医師のインスペクションを受けなければならない。（第 813 条 5 参照）</li></ul>
4. 選手の服装	日本馬術連盟競技会規程第 809 条に基づいたエンデュランス競技に適した服装であること。また、バックガードの着用を推奨する。

<p>5. 参加料</p>	<p>選手権競技 1頭 52,000円  一般競技 1頭 42,000円  ※参加料の内、2,000円を任意のオリンピック協賛金とする。</p> <p>予備馬登録料 1頭 1,000円  事前入厩 1日 1,500円</p> <p>【参加料等振込先】  帯広信用金庫 鹿追支店  口座番号 普通 1032394  口座名義 <small>ぜんにほんえん でゅらん すぼじゅつたいかい</small> 全日本エンデュランス馬術大会 <small>じつこういんちやう</small> 実行委員長 <small>みついふくなり</small> 三井福成</p> <p>※一度納入した参加料等はいかなる場合でも返却しない。なお、主催者側の都合により競技を取りやめた場合は、この限りではない。</p>
<p>6. 申込方法および期限</p>	<p>1. 参加申込締切日 <b>平成 26 年 8 月 29 日 (金) 17:00 必着</b></p> <p>2. 参加申込書には人馬（予備馬含む）とともに、会員番号および登録番号を必ず記入すること。</p> <p>3. 馬の変更は、申し込み済の予備馬の中でのみ受け付ける。また、締切後の変更は 1 項目につき 2,000 円徴収する。</p> <p>4. 未成年者の参加は保護者の承諾を得た上で行い、承諾書を添付のこと。</p> <p>5. 申込書送付先  〒081-0341 北海道河東郡鹿追町瓜幕西 3 丁目 鹿追町ライディングパーク内  全日本エンデュランス馬術大会実行委員会事務局  TEL:0156-67-2345 FAX:0156-67-2348</p> <p>6. 申込に不備等がある場合は、出場を認めない場合がある。また、参加申込締切後、書類の内容等に疑義が認められた場合は、大会役員の判断で取消す場合がある。</p>
<p>7. 入厩</p>	<p>1. 平成 26 年 9 月 20 日 (土) ~22 日 (月) を大会入厩期間とし、この期間中につき大会役員が監視する。</p> <p>2. 平成 26 年 9 月 16 日 (火) ~19 日 (金) を事前入厩期間とし、一部コースを公開する。また、大会入厩期間までの連泊を許可する。ただし、馬の管理は自己責任において行うこと。なお、事前入厩期間と大会入厩期間で、馬房の位置を変更する場合がある。</p> <p>3. 入厩は、大会実行委員会の指示に従って馬運車の移動を行い、会場に到着後速やかに、乗馬登録証および馬の健康手帳を大会本部に提出すること。</p> <p>4. 参加馬および予備馬以外は、入厩できない。また、入厩時には本要項「8. 馬の防疫」の基準を満たしていること。</p>

<p>8. 馬の防疫</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「日本馬術連盟 検査・予防接種実施要領」に規定されている防疫要領を遵守のこと。また、その接種証明が記載された馬の健康手帳を携行すること。</li> <li>2. 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前 1 週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。</li> <li>3. 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。</li> <li>4. 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中（3 カ月）の馬匹は出場できない。</li> <li>5. 根室・釧路・網走管内から参加する馬匹については、馬パラチフス陰性の証明書（家畜保健衛生所発行）を携行すること。</li> <li>6. 上記が守れない場合や申込書類に不備がある場合は、入厩を認めない。</li> </ol>
<p>9. 獣医検査（エグザミネーション）／ インスペクション</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 獣医検査（エグザミネーション） 馬匹の入厩後、速やかに馬の登録証および健康手帳を大会本部に提出すること。獣医師団により査閲し、馬の個体識別、伝染病疾病の有無および健康確認を行う。</li> <li>2. 第 1 回インスペクション 競技開始の前日に、参加馬が競技への参加適性があるかどうか審判団とおよび獣医師団のもと実施する。</li> <li>3. インスペクション       <ol style="list-style-type: none"> <li>①インスペクションを受けるまでの時間は各区間到着後 20 分以内とし、再インスペクションは 1 回のみとする。ただし、最終区間のゴール後は 30 分以内とし、再インスペクションは受けられない。</li> <li>②最高心拍数は、64 拍／分以下とする。ただし、気象条件等により技術代表、獣医師団長および審判長の協議の上、基準値を変更する場合がある。</li> <li>③過度の疲労、熱中症、疝痛、筋障害、激しい脱水症、または異常に高い体温（40℃以上）の症状を呈している馬は失権となる。</li> <li>④継続的に歩様の異常を呈し、それによる苦痛の可能性を有する、または将来の運動能力に対する悪影響が懸念される馬は失権となる。</li> <li>⑤競技に参加、または競技を継続することによって、該当時点で有する痛み、外傷等が深刻に悪化しそうな状態にある馬は失権となる。</li> <li>⑥獣医師団からの書面による承認がない限り、競技会期間中に獣医師による治療を行うことはできない。認可された処置は当該馬の順位決定に影響を及ぼさない。</li> </ol> </li> <li>4. 強制再インスペクション 選手権競技では、第 3 区間終了時のインスペクションに合格した馬匹は、第 4 区間に出発する前に再度インスペクションを受けなければならない。強制再検査は第 4 区間スタート時間の 15 分前から行う。</li> </ol>

	<p>5. 最終インスペクション 選手権競技の最終インスペクションの判定は、3名の獣医師による合議なしの投票によって行い、多数決によって最終判断が決定される。</p> <p>6. その他のインスペクション 既定のインスペクションに加えて、獣医師団あるいは審判長の判断により、競技中、何時でも個別のインスペクションを行うことができる。</p> <p>7. ベストコンディション賞 ベストコンディション賞は、上位入賞者の中から審査により決定される。ただし、獣医師団および競技場審判団の判断により、該当馬が無い場合も有りうる。選考対象馬は審査時まで競技主催者の監視下に置かれる。</p>
<p>10. 落鉄対策</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各自充分な対応をすること（改装・イージーブーツ等）。</li> <li>2. 主催者で装蹄師の手配をするが、予備鉄は各自で用意すること。予備鉄がない場合、装蹄できないことがある（装蹄料は実費負担）。</li> <li>3. 予備鉄は事前にゼッケン番号および馬名を明記して、大会本部に預けること。</li> <li>4. 再装蹄にあたっては、外部からの援助を受けることができる。</li> </ol>
<p>11. ドーピング検査</p>	<p>本大会に参加する全ての選手および馬匹を対象に、ドーピング検査を実施する。</p> <p>【処方薬を服用中の競技者に関する注意】 治療のために、禁止薬物・方法を使用する必要がある場合は、事前に治療目的使用に係る除外措置（TUE）の申請手続きを行い、承認を得ておくこと。</p> <p>※TUE 申請手続き方法： 「TUE 申請書」および「TUE 確認書」を、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のホームページからダウンロードして入手し、競技者および医師が所定の事項を記入し、競技会の30日前までにJADAに提出する。</p> <p>【競技者のドーピング防止に関する参考ウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（公財）日本アンチ・ドーピング機構（JADA）</li> <li>・TUE（治療目的使用に係る除外措置）関連書式</li> <li>・医師のためのTUE申請ガイドブック</li> <li>・ドーピング防止のための選手必携書</li> <li>・薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック</li> </ul> <p>【馬匹のドーピング防止に関する参考ウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本馬術連盟ホームページ&gt; ドーピング防止関連</li> <li>・日本馬術連盟ホームページ&gt; 規程集</li> </ul> <p>※馬匹の治療に関する注意 競技会期間中における馬への獣医療の実施については、規程に基づき獣医師団長の許可を得ること。</p>

12. 開会式／ ブリーフィング	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選手または所属団体の代表者は必ず出席すること。(代理出席を認める)</li> <li>2. ブリーフィングで決定あるいは確認した事項を優先する。</li> </ol>
13. 表彰式／褒賞／ 完走証明書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入賞者は必ず表彰式に出席すること。正当な理由なく表彰式に参加しない者は入賞の資格を失う。</li> <li>2. 選手権競技の優勝者を全日本チャンピオンとする。</li> <li>3. 各競技の出場数の上位 1/4 までを入賞とする。ただし、出場者が 20 名以下の場合、第 5 位までを入賞とする。また、褒賞は下記の通りとし、入賞者に馬リボンを贈る。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 位                    優勝杯／賞状／メダル／厩舎掛け／副賞</li> <li>2 位～3 位        賞状／メダル／厩舎掛け／副賞</li> <li>ベストコンディション賞        賞状／副賞</li> </ol> </li> <li>4. 完走した人馬に完走証明書を交付する。</li> </ol>
14. その他注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選手は傷害保険に加入していること。</li> <li>2. メディカルカードをライダーズベストのポケットに必ず携行の上、走行すること。</li> <li>3. 厩舎およびその周辺の清掃は、各自相互に協力して行うこと。清掃用具は各自持参すること。</li> <li>4. 雨よけ・日よけの装備にあたっては、設置前に大会本部の承認を受けること。</li> <li>5. 厩舎・クレーエリア・コース・クレーポイントは火気厳禁、禁煙とする、喫煙は指定された喫煙場所のみで行うこと。</li> <li>6. 未明のスタートとなるので、必要な場合は各自照明器具等を準備すること。</li> <li>7. この要項にない事項に関しては、関係役員（技術代表、大会委員長、審判長、チーフスチュワード、獣医師団長）の協議で決定する。</li> </ol>